

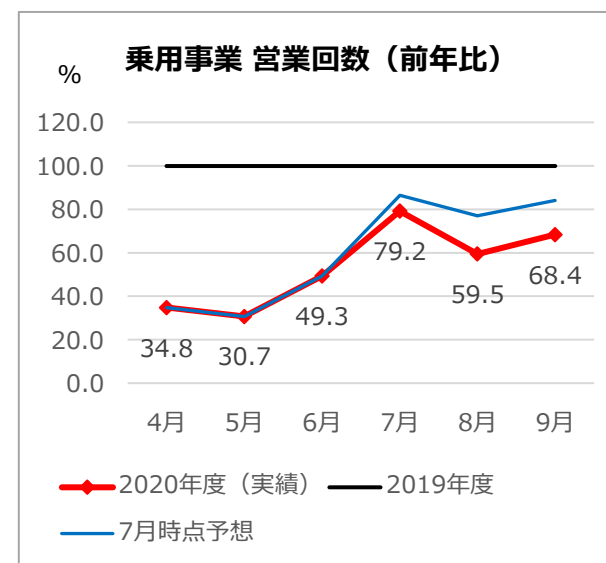
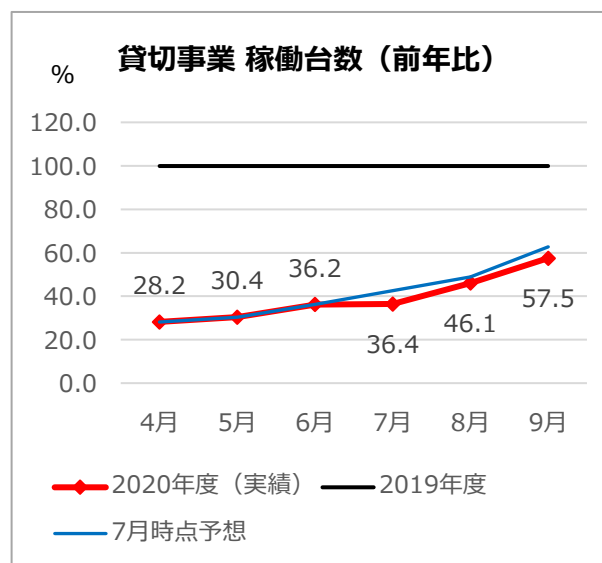
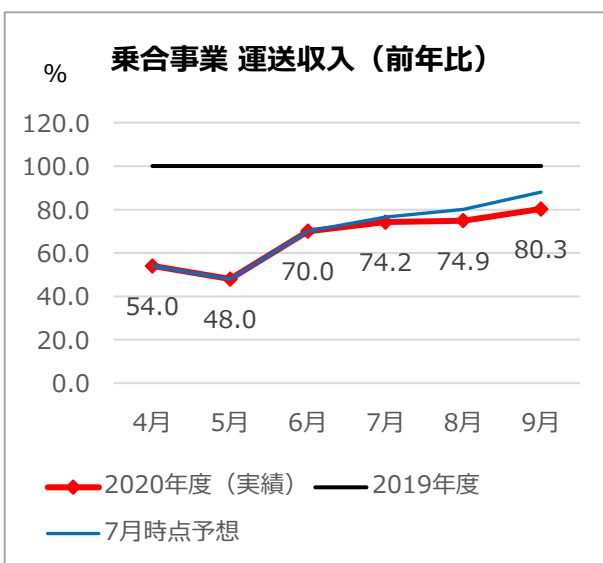
2021年3月期第2四半期 決算説明資料

2020年10月27日
神奈川中央交通株式会社



一般旅客自動車運送事業の状況（4月～9月）

	営業状況	影響
乗合事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バス（一部ダイヤ変更） 4/24～5/29 平日を土曜ダイヤで運行 4/4～8/29 土曜を休日ダイヤで運行 ■ 空港線など一部運休 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間は、売上高が一時的に前年比5割程度まで減少 ■ 緊急事態宣言解除後は、回復基調で推移したものの、感染症再拡大の余波もあり、売上高は9月末時点で前年比8割程度の回復
貸切事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間は、旅行団体が全てキャンセルとなり稼働が前年比3割程度まで減少 ■ 緊急事態宣言解除後は、回復基調で推移し、稼働は9月末時点で前年比6割程度まで回復
乗用事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間は、営業回数が前年比3割程度まで減少 ■ 緊急事態宣言解除後は、感染症再拡大の余波もあり、営業回数は9月末時点で前年比7割程度の回復



不動産事業の状況（4月～9月）

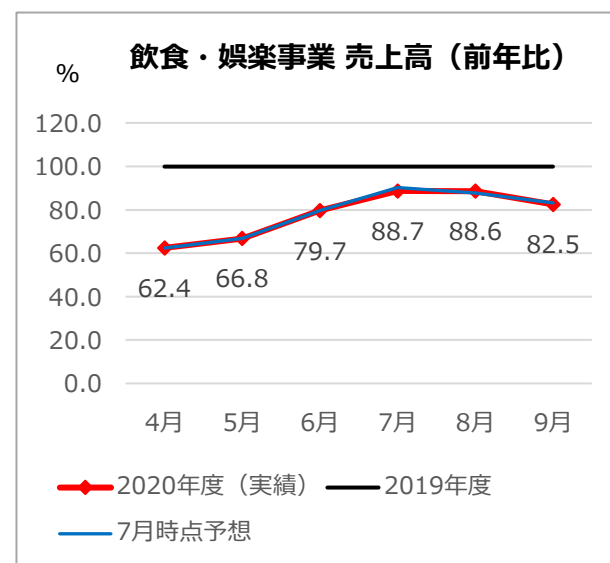
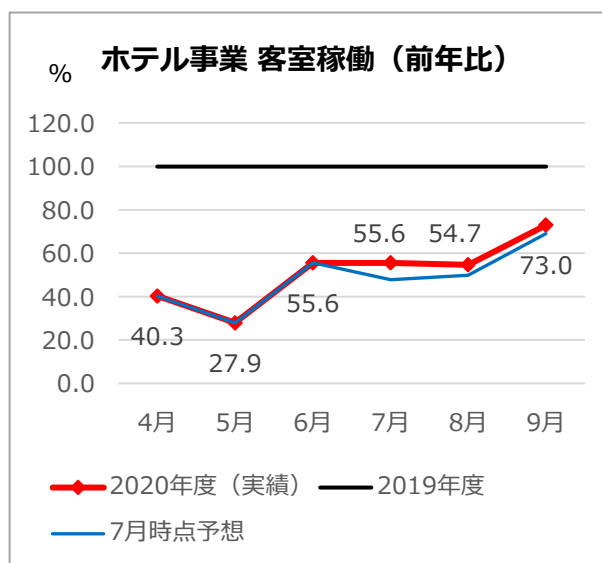
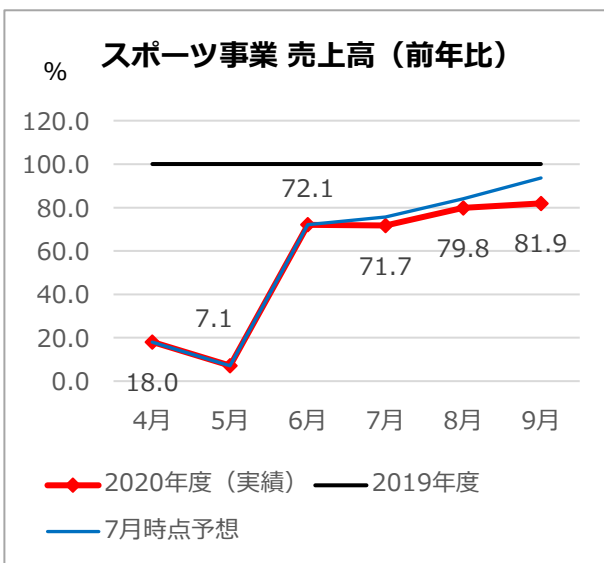
	営業状況	影響
分譲事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心にマンション販売の案内所を臨時休業 ■ 戸建分譲の内覧会を完全予約制で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マンション分譲への影響は軽微 ■ 戸建分譲は販売計画の未達
賃貸事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業施設等は通常営業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上歩合賃料の減少があったが、影響は軽微 ■ 賃料の支払猶予の要請などがあったが、影響は軽微

自動車販売事業の状況（4月～9月）

	営業状況	影響
商用車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心に訪問営業を自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物流業者や貸切バス事業者の買い控えにより、販売台数はトラックで前年比7割程度、バスは前年比8割程度に減少 ■ 自動車整備は堅調に推移
輸入車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心に営業時間を短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車販売台数は、前年比で減少したものの、高単価の車両の販売により売上高は前年比1割程度の増収

その他の事業の状況（4月～9月）

	営業状況	影響
レジャー・スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心にスポーツ施設、温浴施設を臨時休業 ■ ゴルフ場はセルフスループレーで営業を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 臨時休業による影響で、スポーツ事業の売上高が一時的に前年比1割程度まで減少 ■ 緊急事態宣言解除後は、スポーツ事業売上高は9月末時点で前年比8割程度まで回復
ホテル事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宿泊は通常営業 ■ 緊急事態宣言期間を中心にホテル料飲店舗は臨時休業・営業時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間中は、客室稼働が一時的に前年比3割程度まで減少 ■ 緊急事態宣言解除後は、緩やかに回復しており、客室稼働は9月時点で前年比7割程度まで回復
飲食・娯楽事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心に、臨時休業・営業時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 臨時休業による影響で売上高が前年比6割程度まで減少したが、店舗営業再開により、9月末時点では前年比8割程度まで回復



単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	2021年3月期 第2四半期予想 (2020年7月公表値)	増減
売上高	42,135	56,773	△ 14,638 (△ 25.8%)	42,900	△ 764 (△ 1.8%)
一般旅客自動車運送事業	19,314	29,868	△ 10,553	20,220	△ 905
不動産事業	2,870	3,006	△ 136	3,080	△ 209
自動車販売事業	12,031	13,698	△ 1,667	11,740	291
その他の事業	12,044	15,656	△ 3,611	12,180	△ 135
調整額	△ 4,125	△ 5,456	1,331	△ 4,320	194
営業利益	△ 4,735	3,843	△ 8,579 (-)	△ 4,670	△ 65 (△ 1.4%)
一般旅客自動車運送事業	△ 6,132	1,830	△ 7,963	△ 5,850	△ 282
不動産事業	1,332	1,331	1	1,330	2
自動車販売事業	242	122	119	90	152
その他の事業	33	687	△ 654	△ 40	73
調整額	△ 211	△ 128	△ 82	△ 200	△ 10
経常利益	△ 4,221	3,893	△ 8,114 (-)	△ 4,580	358 (7.8%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 3,864	2,473	△ 6,338 (-)	△ 4,190	325 (7.8%)
1株当たり四半期純利益	△ 314.91円	201.56円	△ 516.47円	△ 341.43円	26.52円

減価償却費	3,622	3,276	346
EBITDA	△ 1,112	7,120	△ 8,232

<営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業外収益	716	257	459	※1 助成金収入 + 479
営業外費用	202	207	△ 5	
特別利益	480	83	397	※1 助成金収入 + 334
特別損失	564	185	379	※2 臨時休業等による損失 + 350

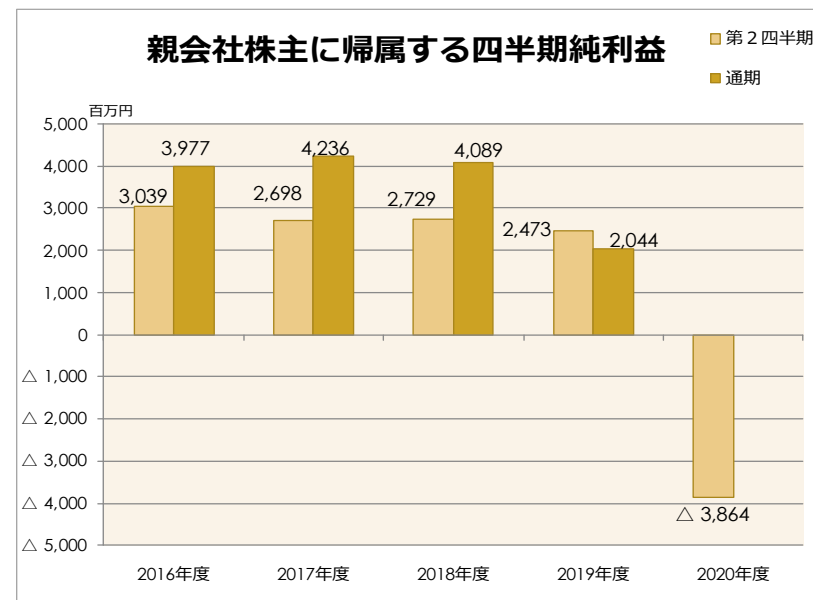
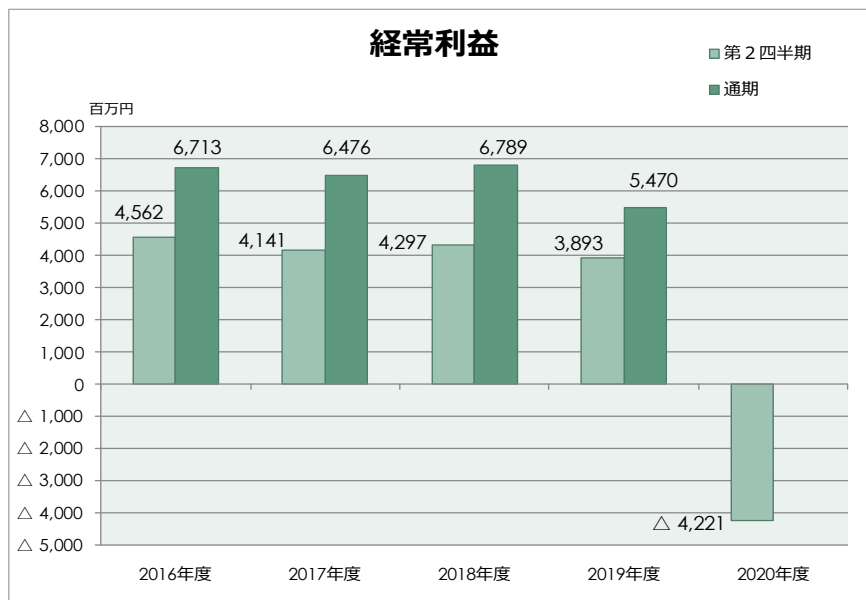
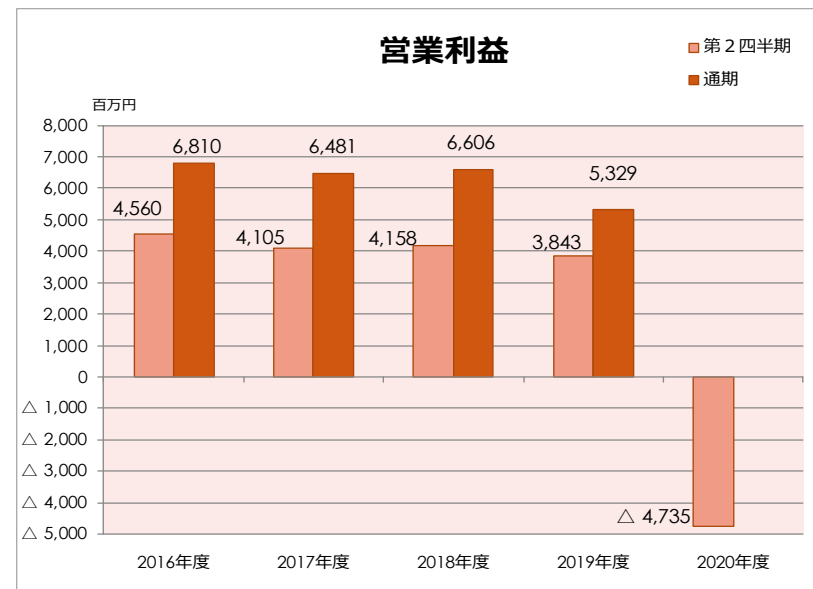
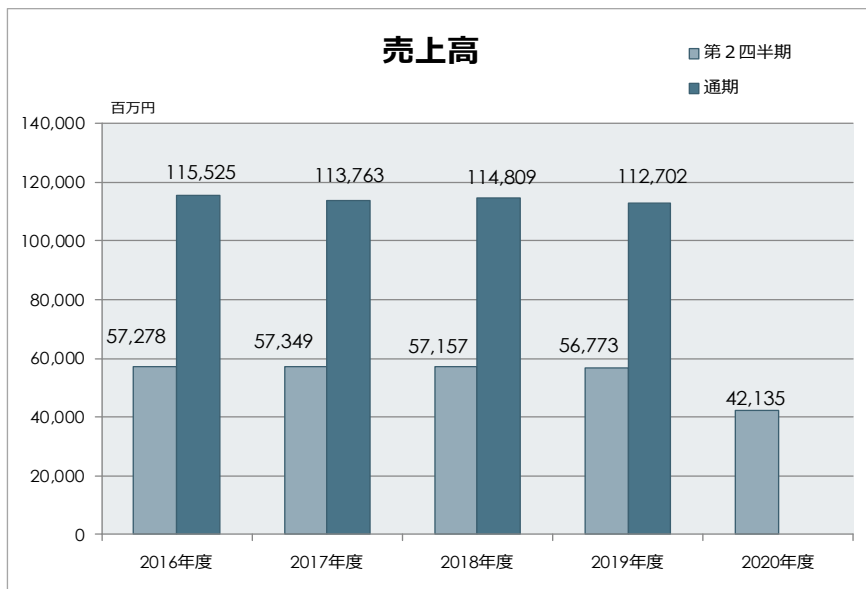
※1 雇用調整助成金等の「助成金収入」について、緊急事態宣言期間の休業等に関わるものは、臨時性を鑑み特別利益に計上、宣言解除以降のものは営業外収益に計上

※2 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した人件費、償却費、賃借料等の固定費を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上

単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期	増減	摘要
流動資産	19,824	21,185	△ 1,360 (△ 6.4%)	受取手形及び売掛金△2,256
固定資産	135,885	134,969	916 (0.7%)	投資有価証券 + 1,680
資産合計	155,710	156,154	△ 444 (△ 0.3%)	
流動負債	51,999	52,267	△ 268 (△ 0.5%)	支払手形及び買掛金△2,177、短期借入金 + 2,200
固定負債	45,827	43,330	2,497 (5.8%)	長期借入金 + 3,695
負債合計	97,826	95,597	2,228 (2.3%)	
純資産合計	57,883	60,556	△ 2,673 (△ 4.4%)	利益剰余金△4,109
負債純資産合計	155,710	156,154	△ 444 (△ 0.3%)	

1株当たり純資産額	4,323.90円	4,557.04円	△ 233.14円	
自己資本比率	34.1%	35.8%	△ 1.7P	
有利子負債残高 (借入金及び社債)	52,704	46,808	5,895	

単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	△ 1,263	6,891	△ 8,154	税金等調整前四半期純利益(損失)△8,096
投資キャッシュ・フロー	△ 3,628	△ 2,818	△ 809	固定資産の取得による支出△723
財務キャッシュ・フロー	4,734	△ 4,059	8,793	短期借入金の純増減額+8,682
現金及び現金同等物の増減額	△ 157	12	△ 170	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,033	2,808	△ 775	



神奈川中央交通グループ	子会社20社、関連会社3社
うち 連結子会社	20社
持分法適用会社	2社（大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス）

〈主な連結会社〉

■ 一般旅客自動車運送事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	摘要
売上高	19,314	29,868	△ 10,553 (△ 35.3%)	乗合事業△7,569 貸切事業△667 乗用事業△2,316
営業利益	△ 6,132	1,830	△ 7,963 (-)	乗合事業△6,547 貸切事業△272 乗用事業△1,142

2021年3月期 第2四半期予想 (2020年7月時点)	増減	摘要
20,220	△ 905 (△ 4.5%)	乗合事業△518 貸切事業△3 乗用事業△383
△ 5,850	△ 282 (△ 4.8%)	乗合事業△278 貸切事業+34 乗用事業△38

【対前年】

コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収減益。

【対予想（2020年7月時点）】

乗合事業および乗用事業は、需要回復の遅れにより減収減益。

貸切事業は、売上高が概ね予想通りに推移したことに加え、人件費等の減少により増益。

※参考 乗合事業輸送人員

単位：百万人	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率
定期外	56	91	△ 37.9%
定期	26	34	△ 22.2%
合計	83	126	△ 33.6%

単位：百万円	2021年3月期		増減	摘要	2021年3月期		増減	摘要
	第2四半期	2020年3月期 第2四半期			第2四半期予想 (2020年7月時点)	第2四半期		
売上高	2,870	3,006	△ 136 (△ 4.5%)	分譲事業△125 賃貸事業△11	3,080	△ 209 (△ 6.8%)	分譲事業△214	
営業利益	1,332	1,331	1 (0.1%)	分譲事業+37 賃貸事業△36	1,330	2 (0.2%)		

【対前年】

分譲事業は、宅地およびマンション分譲戸数の減少により減収、仲介手数料収入による粗利率向上により増益。
賃貸事業は、コロナ禍による売上歩合賃料の減少により減収、また新規賃貸物件の開業費計上もあり減益。

【対予想（2020年7月時点）】

分譲事業における戸建分譲の販売計画の未達により減収。

単位：百万円	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	摘要
売上高	12,031	13,698	△ 1,667 (△ 12.2%)	商用車販売事業△1,637 輸入車販売事業△29
営業利益	242	122	119 (97.1%)	商用車販売事業+156 輸入車販売事業△37

2021年3月期 第2四半期予想 (2020年7月時点)	増減	摘要
11,740	291 (2.5%)	商用車販売事業+187 輸入車販売事業+103
90	152 (-)	商用車販売事業+95 輸入車販売事業+57

【対前年】

商用車販売事業は、コロナ禍による新車販売の需要減により減収、自動車整備が堅調に推移し増益。
輸入車販売事業は、中古車の販売台数が減少し減収、また新店舗への移転に伴う費用計上もあり減益。

【対予想（2020年7月時点）】

商用車販売事業は、トラック販売台数の増加に加え、自動車整備が堅調に推移し増収増益。
輸入車販売事業は、高単価モデルの販売増加により増収増益。

※参考 新車販売台数

単位：台	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減
トラック	798	1,136	△ 338
バス	31	40	△ 9
輸入車	211	232	△ 21

単位：百万円	2021年3月期		増減	摘要	2021年3月期 第2四半期予想 (2020年7月時点)		増減	摘要
	第2四半期	2020年3月期 第2四半期			第2四半期	第2四半期		
売上高	12,044	15,656	△ 3,611 (△ 23.1%)	流通事業△1,838 レジャー・スポーツ事業△620 飲食・娯楽事業△511	12,180	△ 135 (△ 1.1%)	流通事業△58 レジャー・スポーツ事業△36 ビル管理事業△32	
営業利益	33	687	△ 654 (△ 95.1%)	レジャー・スポーツ事業△275 サービス事業(ホテル他)△173 飲食・娯楽事業△125	△ 40	73 (-)	飲食・娯楽事業+45 商用車架装事業+30	

【対前年】

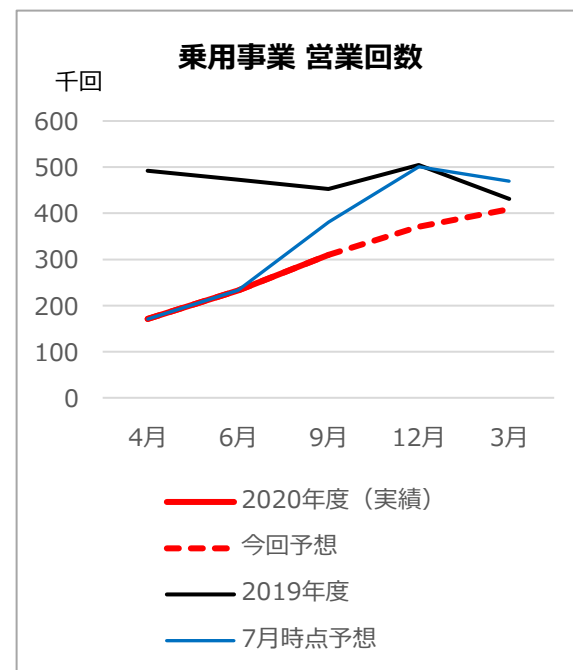
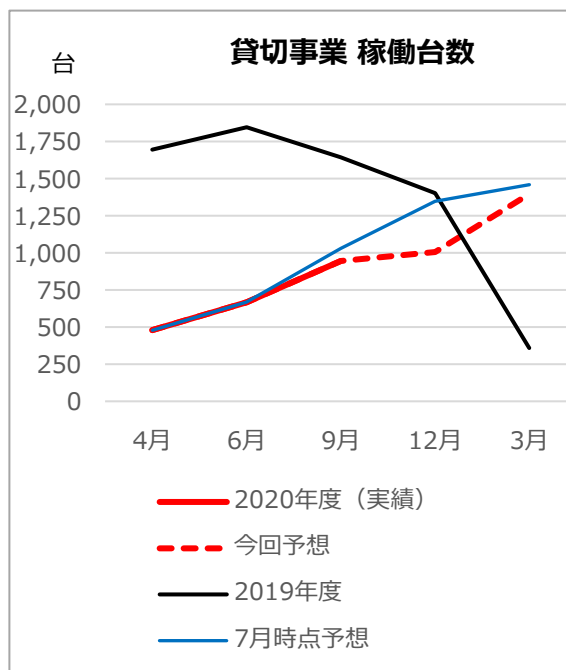
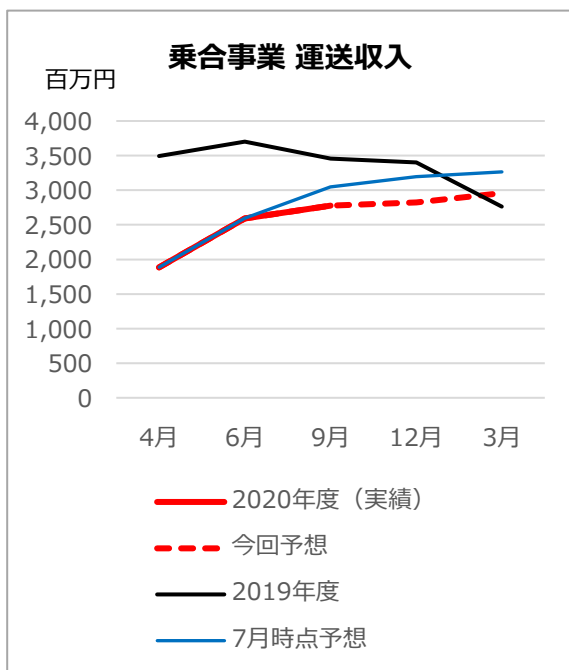
流通事業は軽油販売単価の下落により減収。加えて、緊急事態宣言期間を中心とした臨時休業や営業時間短縮の影響により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

【対予想（2020年7月時点）】

売上高は、流通事業の受注工事の時期ずれやレジャー・スポーツ事業の回復の遅れにより減収。
営業利益は、飲食・娯楽事業の経費節減、商用車架装事業の粗利が増加したことにより増益。

2021年3月期の業績予想
(2020年10月27日公表値)

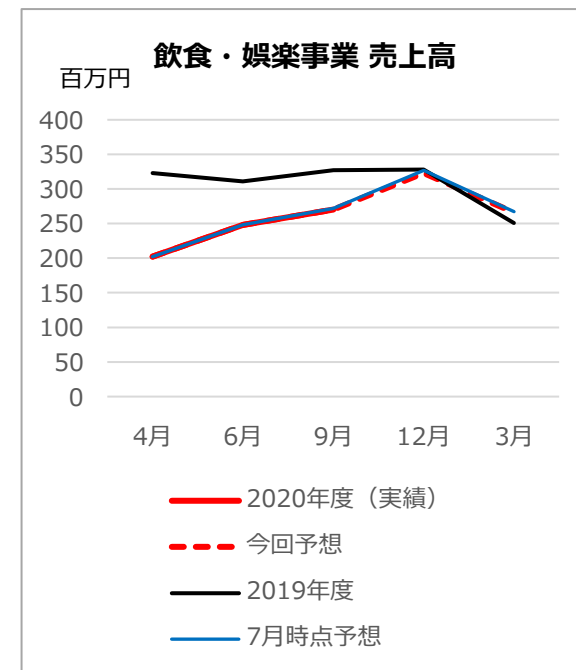
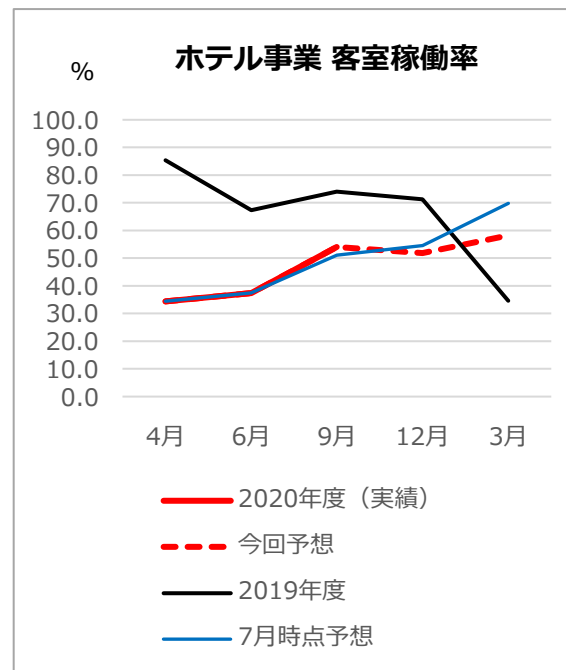
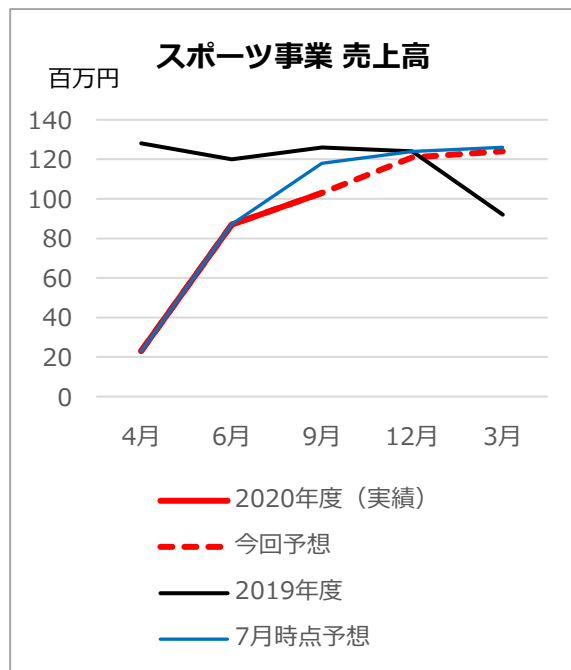
一般旅客自動車運送事業	
前提条件（下期の見通し）	
乗合事業	■テレワークの浸透や大学のオンライン授業の長期化を勘案し、前年比8割程度で推移。
貸切事業	■Go Toトラベルの活用や修学旅行などの学生団体が回復傾向にあり、堅調に推移。
乗用事業	■Go Toキャンペーンやイベントの制限緩和等、経済活動の活性化により緩やかに回復。



不動産事業	
前提条件（下期の見通し）	
分譲事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戸建分譲の販売戸数の増加や分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の新街区の販売開始が増収に寄与。
賃貸事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業績不振によるテナントの退去、空室の長期化をリスクとして想定。

自動車販売事業	
前提条件（下期の見通し）	
商用車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車販売においては需要の低迷が継続し、バスの販売台数は前年比2割程度に留まる見通し。 ■ 自動車整備や部品販売は、前年並みで推移し、利益を下支え。
輸入車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 8月に移転開業した新店舗の効果もあり、新車販売台数は前年比1割増、中古車販売台数は前年比3割増。

その他の事業	
	前提条件（下期の見通し）
レジャー・スポーツ事業	■ スポーツ事業の会員数が徐々に回復、ゴルフ場事業は前年並みの利用者数で推移。
ホテル事業	■ 宿泊部門の稼働は、Go Toトラベルやイベントの制限緩和等、経済活動の活性化により徐々に回復、前年比8割程度で推移。
飲食・娯楽事業	■ 緩やかな回復基調にあり、前年比9割程度で推移。



単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減	2021年3月期 業績予想 (2020年7月公表値)	増減
売上高	93,100	112,702	△ 19,602 (△ 17.4%)	97,900	△ 4,800 (△ 4.9%)
一般旅客自動車運送事業	42,790	57,155	△ 14,365	47,040	△ 4,250
不動産事業	7,370	6,577	792	7,460	△ 90
自動車販売事業	25,310	31,801	△ 6,491	25,140	170
その他の事業	25,970	31,226	△ 5,256	27,250	△ 1,280
調整額	△ 8,340	△ 14,058	5,719	△ 8,990	650
営業利益	△ 5,130	5,329	△ 10,459 (-)	△ 2,730	△ 2,400 (△ 87.9%)
一般旅客自動車運送事業	△ 8,240	1,469	△ 9,709	△ 5,780	△ 2,460
不動産事業	2,760	2,619	140	2,750	10
自動車販売事業	260	289	△ 29	160	100
その他の事業	440	1,214	△ 774	520	△ 80
調整額	△ 350	△ 262	△ 88	△ 380	30
経常利益	△ 4,420	5,470	△ 9,890 (-)	△ 2,360	△ 2,060 (△ 87.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 4,480	2,044	△ 6,524 (-)	△ 2,900	△ 1,580 (△ 54.5%)
1株当たり当期純利益	△ 365.06円	166.61円	△ 531.67円	△ 236.31円	△ 128.75円

減価償却費	7,030	6,758	271
資本的支出	10,390	13,480	△ 3,090
EBITDA	1,900	12,087	△ 10,187

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年7月時点)	増減
売上高	42,790	57,155	△ 14,365 (△ 25.1%)	乗合事業△10,538 貸切事業△784 乗用事業△3,043	47,040	△ 4,250 (△ 9.0%)
営業利益	△ 8,240	1,469	△ 9,709 (-)	乗合事業△8,091 貸切事業△295 乗用事業△1,325	△ 5,780	△ 2,460 (△ 42.6%)
減価償却費	5,110	4,898	211		5,190	△ 80
資本的支出	3,790	10,468	△ 6,678		4,930	△ 1,140

【対前年】

コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収減益。

【対予想（2020年7月時点）】

乗合、貸切、乗用すべての事業において、需要の回復ペースについて予測を改めたことにより、減収減益。

※参考 乗合事業輸送人員計画

単位：百万人	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減率
定期外	127	175	△ 27.1 %
定期	56	66	△ 15.2 %
合計	183	241	△ 23.9 %

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年7月時点)	増減
売上高	7,370	6,577	792 (12.0%)	分譲事業+801 賃貸事業△9	7,460	△ 90 (△ 1.2%)
営業利益	2,760	2,619	140 (5.4%)	分譲事業+113 賃貸事業+27	2,750	10 (0.4%)
減価償却費	1,000	957	42		1,000	0
資本的支出	1,770	851	918		1,780	△ 10

【対前年】

戸建分譲の販売戸数の増加、分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」の新街区の販売開始により増収増益。

【対予想（2020年7月時点）】

分譲事業における戸建分譲の販売計画の一部見直しにより減収。

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年7月時点)	増減
売上高	25,310	31,801	△ 6,491 (△ 20.4%)	商用車販売事業△6,830 輸入車販売事業+339	25,140	170 (0.7%)
営業利益	260	289	△ 29 (△ 10.1%)	商用車販売事業+23 輸入車販売事業△52	160	100 (62.5%)
減価償却費	330	288	41		350	△ 20
資本的支出	3,790	1,449	2,340		3,960	△ 170

【対前年】

商用車販売事業は、コロナ禍による新車販売の需要減により減収、自動車整備が堅調に推移し増益。
輸入車販売事業は、高単価モデルの販売増加や新店舗での中古車取扱台数の増加などにより増収、移転に伴う費用計上により減益。

【対予想（2020年7月時点）】

商用車販売事業において、大口のトラック受注の獲得や自動車整備が上向き増収増益。

※参考 新車販売台数

単位：台	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減
トラック	1,856	2,128	△ 272
バス	68	259	△ 191
輸入車	522	514	8

単位：百万円	2021年3月期 業績予想 (2020年10月公表値)	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2020年7月時点)	増減
売上高	25,970	31,226	△ 5,256 (△ 16.8%)	流通事業△2,791 飲食・娯楽事業△778 レジャー・スポーツ事業△576	27,250	△ 1,280 (△ 4.7%)
営業利益	440	1,214	△ 774 (△ 63.8%)	レジャー・スポーツ事業△277 サービス事業(ホテル他)△124 流通事業△122	520	△ 80 (△ 15.4%)
減価償却費	590	613	△ 23		600	△ 10
資本的支出	1,040	971	68		3,680	△ 2,640

【対前年】

流通事業は軽油販売単価の下落により減収。加えて、緊急事態宣言期間を中心とした臨時休業や営業時間短縮の影響により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

【対予想（2020年7月時点）】

情報サービス事業のグループ向けバス車載機器販売の時期ずれ、流通事業のバス部品販売の減少により減収減益。

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期	増減
	業績予想 (2020年10月公表値)				業績予想 (2020年7月公表値)	
売上高	42,500	52,544	△ 10,044 (△ 19.1%)	乗合事業△9,500	45,200	△ 2,700 (△ 6.0%)
営業利益	△ 4,480	3,222	△ 7,702 (-)	乗合事業△7,540	△ 2,330	△ 2,150 (△ 92.3%)
経常利益	△ 4,650	3,531	△ 8,181 (-)		△ 2,470	△ 2,180 (△ 88.3%)
特別利益	120	209	△ 89 (△ 42.6%)		110	10 (9.1%)
特別損失	540	1,058	△ 518 (△ 49.0%)		530	10 (1.9%)
当期純利益	△ 3,700	1,920	△ 5,620 (-)		△ 1,970	△ 1,730 (△ 87.8%)
1株当たり 当期純利益	△ 301.50円	156.50円	△ 458.00円		△ 160.53円	△ 140.97円

【対前年】

乗合事業において、コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収減益。

【対予想（2020年7月公表値）】

乗合事業における需要回復の遅れにより減収減益。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〈お問い合わせ先〉

神奈川中央交通株式会社 総務部 TEL : 0463-22-8800